

平成31年度 事業報告

本部（法人）関係

1 センター（あい丹後）を取り巻く状況等

平成31年度は、読書バリアフリー法が制定されるなど、障害者福祉における制度の充実が着実に進められております。

福祉社会の充実に向けて、当センターも利用者やボランティアの協力、後援会の支援等も得ながら役職員が一丸となり運営してまいりました。

視覚障害者情報総合ネットワークシステム「サピエ」を活用した点字図書館業務の充実、ボランティア養成、同行援護事業の円滑な実施など利用しやすい環境づくりに努めてまいりました。また、10月5日（土）に開催した「2019 あい丹後ふれあいまつり」は、会場をアミティ丹後に移して2度目の開催でしたが、本当にたくさんの方に来場いただき、福祉に多くの方が目を向けていただく機会となりました。地域の方々に視覚障害やセンターを知ってもらうため、今後も様々な工夫をしてまいりたいと考えます。

当センターは、行政や地域をはじめとする多くの支援者の方々のお力を借りながら、利用者やボランティアの方々と共に、視覚障害者の自立と社会参加による福祉の向上を目指して一層取り組んでまいります。

2 評議員会、理事会、監査会の開催状況

（1）評議員会

①第1回 令和元年6月12日（水）

△ 議長 藤村 益弘

△ 議事録署名人 小谷 一男 今井 勝美

△ 出席評議員 18名

△ 議題

- 1 平成30年度事業報告について
- 2 平成30年度会計資金収支決算報告について
- 3 理事及び監事の選任について

②第2回 令和元年11月27日（水）

△ 議長 今井 勝美

△ 議事録署名人 井上 恵美 西躰 勝子

△ 出席評議員 17名

△ 議題

- 1 平成31年度事業（中間）報告並びに平成31年度会計資金収支（中間）報告について （中間監査報告）

③第3回 令和2年3月18日(水)

▲ 新型コロナウイルス感染防止対策のため中止

(2) 理事会

①第1回 令和元年5月23日(木)

△ 議長 三浦 到

△ 出席理事 9名

△ 出席監事 1名

△ 議題

1 平成30年度事業報告について

2 平成30年度会計資金収支決算について

②第2回 令和元年6月20日(木)

△ 議長 三原 敏雄

△ 出席理事 10名

△ 出席監事 2名

△ 議題

1 理事長の任期満了に伴う改選について

②第3回 令和元年11月14日(木)

△ 議長 田村 敏明

△ 出席理事 9名

△ 出席監事 1名

△ 議題

1 平成31年度事業(中間)報告並びに平成31年度会計資金収支(中間)報告について

2 功労者表彰について

3 給与規程の改正について

4 旅費規程の改正について

③第4回 令和2年3月6日(金)

△ 議長 毛呂 敏弘

△ 出席理事 10名

△ 出席監事 2名

△ 議題

1 平成31年度資金収支補正予算について

2 令和2年度事業計画について

3 令和2年度会計資金収支予算について

4 図書館運営委員の選任について

5 苦情処理要領に規定の第三者委員の選考について

(3) 監 査 会

令和元年 5月13日 (決算監査)

3 施設の利用状況

区 分 年 度	会議・研修・他		学 校		合 計	
	回数	延人員	校数	延人員	件数	延人員
平成30年度	202	1, 183	7	169	209	1, 352
平成31年度	270	1, 874	2	36	272	1, 910
差 引	68	691	△5	△133	63	558

4 相談事業

- (1) 日常生活用具等の相談(フレック、拡大読書機、白杖、音声腕時計等)
- (2) 行政手続きなどの相談
- (3) 視覚障害者団体(グループ)などの事業実施に係る相談
- (4) 困り事・悩みなどの相談

◎相談員活動実績

市町	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	与謝野町	伊根町	京丹後市	計
対象者	9	21	19	1	5	0	16	71
訪問数	30	68	50	1	16	0	59	224

5 日常生活用具の斡旋と販売

視覚障害の皆さんから要望される用具の斡旋や、所有している用品具の販売や器具の貸出、取り扱い指導などを行いました。

10月5日の「あい丹後ふれあいまつり」では、業者のご協力により日常生活用具等福祉機器の展示・説明を行い、来場者の好評を得ました。

6 視覚障害者団体などとの連携

- (1) 公益社団法人京都府視覚障害者協会や地域視覚障害者団体との連携
理事会や評議員会などの主な会議及び事業の実施にあたっては、京都府視覚障害者協会との連携を図り、事前に協議するなど円滑な実施に努め、地域視覚障害者団体行事への参加や事業の実施についての協力を行いました。

今年度はコロナウイルス対応により、年度末の事業が休止されました。

◎総 会 京丹後支部 4月24日

◎集い等 京丹後支部 12月 6日

◎第53回白杖安全デー府内北部集会 10月19日 綾部市

- (2) 京丹後市福祉サービス事業者協議会への参加

京丹後市の全ての市民の福祉の向上のため、市内の福祉サービス事業者の連携と協調を図ると共に福祉の拡充強化を図り、併せて地域福祉の向上と増進に寄与することを目的に、京丹後市の呼びかけで平成17年10月に設立された「障害者福祉部会」に所属し、月1回の定例会や講演会等に参加した。

7 障害者福祉教育への協力

(1) 学校への講師の斡旋と派遣

点字体験：小学校1校、中学校1校

(2) センター見学と点字等体験学習の受け入れ

令和元年10月～12月の間に、京丹後市内の小学校4年生2校、36名の来館者を受け入れました。

(3) 京丹後市人権擁護委員の視察・研修

障害者施設の現状把握のため、法務局職員と人権擁護委員が来館され、視覚障害者の課題について意見交換を行いました。

(4) やさしい点字体験教室

7月10日に実施し、参加者6名で地元ケーブルテレビに取材していただきました。

(5) 夏休み親子点字教室

8月8日に実施し、参加者が25名で地元ケーブルテレビに取材していただきました。

8 研修会・全国大会等への参加

○指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導 6/12 綾部市

○京視協「新年のつどい」 1/9 京都市

9 消防・防災訓練と設備等の点検

(1) 消防・防災訓練 2回(消火・通報・避難訓練)

10月9日及び3月5日

(2) 設備の点検

①自主点検(職員実施) 2回 ②業者設備点検 1回

10 顕彰(推薦を含む)

(1) 第49回「朗読録音奉仕者感謝行事」地区表彰

○音訳奉仕者 芳村 千賀子 氏(宇治市)

(2) センター顕彰規程による受賞者（感謝状）

2019 あい丹後ふれあいまつり

- 点訳奉仕者 辻 幸子 氏（宇治市）
同 橋本 明子 氏（京丹後市）
- 音訳奉仕者 田中 葉子 氏（宇治市）

(3) 日本盲人社会福祉施設協議会（感謝状）

- 点訳奉仕者 中村 みや子 氏（宇治市）
- 音訳奉仕者 日引 美江子 氏（宮津市）

11 広報活動

- (1) 「図書館だより」の発行 年2回（9月、1月）
- (2) 「ボランティア通信」の発行 年6回（偶数月）
- (3) ホームページの運用
- (4) 「2019 あい丹後ふれあいまつり」開催
- (5) 行政機関等が発行する広報誌へ講習会等の開催広報
- (6) 後援会組織による活動

12 センター後援会への支援と協力

31年度もセンター事業の円滑な推進が図られるように、財政援助を中心に後援会への支援と協力を求め、一般助成金150万円の助成をいただき、一方、後援会活動を推進するため、組織強化（会員確保と勧誘）に協力しました。

13 施設管理

- (1) 建物の警備
大切な資産を守るため、引き続き、建物の警備（防犯、火災監視）を業務委託しました。
- (2) 建物の施設整備・保守管理
本館は、平成2年改築後、28年が経過し、風雨、季節風の直撃を受け、屋根や外壁などの維持管理が必要となります。これまでから修繕費用については、自主財源に乏しいため、助成採択の可否を見極めながら、施設管理に努めています。今年度は、来年度に行う屋根防水・壁面防水工事のため、修繕資金を来年度へ繰り延べることにいたしました。

「2019 あい丹後ふれあいまつり」のトピックス

令和元年10月5日(土) 10:30~15:00

来場者約350人(地域住民、ボランティア、京視協会員等)



中村理事長職務代理による
開会の挨拶



来賓：三崎政直京丹後市長(当センター後援会長)、丹後広域振興局健康福祉部山田部長、京視協藤原副会長、京丹後市社協藤田会長、網野町民協中川会長、網野町桃山区吉岡区長



古本市



カローリングの体験コーナーや、網野町民生児童委員協議会さんによる輪投げなどのゲームコーナーでは、子どもたちの楽しそうな声がたくさん聞こえました



毎年会場を盛り上げてくれます、網野中学校吹奏楽部のみなさんによる演奏
また今年も、司会進行や模擬店販売など、地元高校生もボランティアとしてお手伝いしてくれました
例年好評のサザエご飯、バラ寿司のほか、今年はタピオカドリンクの販売もお願いしました



バリアフリー映画上映会



関西盲導犬協会のご協力により、盲導犬の実演講座をしていただきました



会場近くの広い駐車場をお借りし、タンデム自転車の乗車体験会を行いました

Ⅱ 情報提供施設（点字図書館）関係

視覚障害者情報提供施設として、点字及び録音図書の製作・整備、図書の貸出・閲覧を行いました。平成22年4月から運用開始された視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用し、視覚障害の方々がより利用しやすく、また、業務の効率化を図るため、データ化した点字図書及び録音図書の登録や点字による即時情報ネットワーク事業などを推進し、視覚障害者への情報提供に取り組んできました。

また、平成25年3月からはサピエと連携する「Web図書館システム」を導入し、図書管理業務の省力化を図っています。

1 図書館運営委員会の開催

- 開催日 令和2年3月18日(水)
場 所 丹後視力障害者福祉センター研修室
内 容
① 読書バリアフリー法の制定について
② 音訳奉仕者資格認定について
③ 点訳ボランティア養成講習会について

2 音訳奉仕者資格認定審査委員会の開催

音訳奉仕者の資格認定について、審査を行い以下の者を認定しました。

北部認定 令和元年9月20日

南部認定 令和元年11月1日

音訳奉仕者認定者

氏 名	住所地	氏 名	住所地
鈴木 正美	綾部市	岩坂 静子	亀岡市
藤本 麻由	茨木市	松山 美佐子	亀岡市
木場 知子	亀岡市	太田垣 靖	伊根町
守谷 法子	亀岡市	坪倉 由貴	与謝野町
野津 時子	亀岡市	中村 加津美	京丹後市

3 図書の整備状況

点訳・音訳奉仕者及びCD図書製作奉仕者の協力と支援を得て図書製作、寄贈、購入により図書整備を図りました。

(1) 点字図書・録音図書の整備状況

区 分	30年度 末蔵書数	平成31年度の整備					31年度 末蔵書数
		目標	購入	製作	寄贈	合計	
点字図書(冊)	23,792	450	0	310	131	441	24,233
録音図書(巻)	29,414	10	0	0	35	35	29,449
C D図書(枚)	7,114	370	37	158	122	317	7,431

(2) 点字・C D雑誌の整備状況

区 分	雑 誌 名 (種 類)	製作数	読者数	備 考
月 刊	木の芽 (俳句雑誌)	12	35	C D
月 刊	三療の友 (医学雑誌)	12	25	C D
隔月刊	図書だより (図書紹介)	6	60	C D
			15	メール
			30	点字
季 刊	こちら熟年放送局 (生活情報一般)	4	10	C D
季 刊	てんてん小町 (総合情報誌)	4	40	点字

※「広報京丹後おしらせ版」の音声版について

京丹後市から委託を受け、月1回、製作・発送を行っています。

(3月末現在 読者数22、内訳 :デイジー版17人 一般C D版5人)

4 図書の貸出状況

(1) 点字図書・録音図書の貸出状況

<点字図書>

区分 年度	延タイトル数
30年度	695
31年度	680
前年度比較	△15

<録音図書>テープ

区分 年度	延タイトル数
30年度	357
31年度	359
前年度比較	2

<C D図書>デイジー

区分 年度	延タイトル数
30年度	7,190
31年度	7,662
前年度比較	472

(2) 「サピエ図書館」の点字・デージーデータダウン状況

年度	点字図書	デージー図書	備考
	ダウン回数	ダウン回数	
30年度	4, 191	35, 493	デージー図書は、再生を含む。
31年度	4, 242	49, 700	
前年度比較	51	14, 207	

5 「障害者の明るいくらし」促進事業

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、誰もが明るく暮らせる社会づくりを促進することを目的として、京都府から委託を受けて実施している事業です。

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業（点字JBニュースの提供）

<利用者>

○重度視覚障害者 点字版 22人（内、京都ライトハウス分9人）

メール版 43人（内、京都ライトハウス分40人）

○公共図書館閲覧用 点字版35館（内、京都ライトハウス分18館）

なお、音声による情報提供システムにより点字JBニュースが聞けます。

全国共通電話番号（0570-021802）（有料：1分間約10円）

(2) 音訳奉仕者の養成と育成

①朗読奉仕員養成講習会

	開催日	場 所	受講者数	講師・テーマ
北部	5月14日～ 6月25日 (7回)	あい丹後	10人	○講師 栗山由紀子 氏 (フリーアナウンサー) 〈テーマ〉 ・朗読の基礎知識及び発声 ・基礎の文章から応用文まで
南部	8月1日～ 9月27日 (7回)	ガレリア亀岡 (亀岡市)	9人	
南部	8月5日～ 9月24日 (7回)	あやべハートセンター (綾部市)	6人	

②音訳奉仕者デジタル録音（編集）及び育成研修会

	開催日	場 所	受講者	講師・テーマ
丹後	11月26日	あい丹後	12人	○講師 野村音訳指導員 〈テーマ〉 ・音訳技術の指導 ・ソフトでの校正 (記入・訂正)
	12月13日		11人	
	3月13日		中止	
南部	11月22日	ひと・まち交流館（京都市）	14人	
	11月 7日	宇治市総合福祉会館 (宇治市)	13人	
	11月 8日		26人	
	11月 9日		14人	

6 点訳講習会等

点訳ボランティア育成研修会

開 催 日	場 所	受講者	講師・テーマ
5月8日～29日 (全4回)	あい丹後	11人	・『点訳の手引き第4版』の改訂 点を中心とした点訳の留意点

点訳ボランティア養成研修会《入門コース》

開 催 日	場 所	受講者	講師・テーマ
7月31日～ 9月4日(全5回)	あい丹後	8人	・初心者を対象とした点訳の初 歩

点訳ボランティア養成研修会《初級コース》

開 催 日	場 所	受講者	講師・テーマ
9月18日～ 11月8日(全7回)	あい丹後	4人	・点字図書制作のための点訳の 基礎

7 研修会・全国大会等への参加

○2019年度「サピエ」研修会 7/11～12 大阪府

<参考> ボランティアの現況（令和2年3月末現在）

(人)

点 訳	音 訳	編 集	作 業	合 計	備 考
83	73	1	0	157	昨年度末168人

Ⅲ 同行援護事業関係

視覚障害者の外出の保障については、平成24年5月から障害者自立支援法による自立支援給付（障害福祉サービス）の指定同行援護事業所「丹後ガイドセンター」として「同行援護」＜①視覚的情報の支援（代筆・代読）②移動援護③排泄、食事等の介護＞の事業所指定を受け、京丹後市、宮津市、伊根町及び与謝野町の視覚障害者へこのサービスを提供しています。

平成31年度も視覚障害者の自立と社会活動への参加を促進し、福祉の増進を図るために関係行政機関等とも連携して、登録同行援護従業者の協力を得ながら、人権を尊重し、安心して安全な「同行援護」の提供に努めつつ、利用実績の確保に努めてきました。

また、サービスの質の向上やガイドヘルパーの確保のため、研修会等を開催すると共に、同行援護の支給決定に先立って「サービス等利用計画」の作成が必要な利用者のために、相談支援センターと連携して取り組みました。

1 同行援護事業の実施状況

(1) 利用者契約の状況と事業収入（各年度末現在）

区 分	30年度	31年度	比較増減
利 用 契 約 者 数（人）	42	42	0
ガイドヘルパー登録数（人）	31	34	3
事 業 収 入（千円）	10,709	10,696	△13

（注）事業収入は、個人負担分を含む。口座引落手数料は、事業所負担。

(2) ガイドヘルパー稼働状況

区 分	30年度	31年度	比較増減	備 考
回 数（回）	999	1,030	31	
活動時間(時間)	5,277	4,843	△434	

(3) 市町別利用の状況

（単位：件）

市 町 別	30年度	31年度	比較増減	備 考
京丹後市	921	906	△15	契約者33名
宮 津 市	26	58	32	2名
伊 根 町	0	0	0	1名
与謝野町	52	66	14	6名
合 計	999	1,030	31	42名

2 研修会等の開催

(1) 31年度の同行援護従業者研修会

実施日：令和元年12月2日（月）

参加者：従事者12名、職員2名（施設長・サービス提供責任者）

会場：丹後視力障害者福祉センター2階研修室

内容：・健康出前講座「高齢者の外出時の健康問題について」

講師：丹後保健所 保健室 増田副室長

・利用者とガイドの意見交換

(2) 「同行援護従事者交流のつどい」

実施日：令和元年12月9日（月）

参加者：従事者9名、職員1名（サービス提供責任者）

会場：丹後視力障害者福祉センター2階研修室

内容：・12／2の研修会での内容をもとに、老人車の取り扱い方を実習

・日頃のガイドについての意見交流会